

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年4月5日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	47	9	1	10	36	56
令和7年	47	12	1	17	28	58
前年同期比	0	-3	0	-7	8	-2

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	18	38.3%	5	1	4	23
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	18	38.3%	5	1	4	13	23
中央アルプス	5	10.6%	0	0	0	6	6
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	11	23.4%	3	0	3	7	13
その他の山岳	13	27.7%	1	0	3	10	14
計	47		9	1	10	36	56

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	8	17.0%	2	0	6	0	8
転倒	2	4.3%	0	0	2	0	2
病気	5	10.6%	3	0	0	2	5
道迷い	11	23.4%	0	0	0	15	15
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	6.4%	1	1	1	0	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	10.6%	1	0	0	4	5
不明・他	13	27.7%	2	0	1	15	18
計	47		9	1	10	36	56

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5	23	0	0	0	2	2	8	7	31
20代	1	0	2	11	14		0	0	0	4	4		18	
30代	1	0	0	3	4	56.1%	0	1	0	1	2	53.3%	6	55.4%
40代	3	0	2	1	6	12	0	0	0	0	0	3	6	15
50代	2	0	1	3	6	29.3%	0	0	1	2	3	20.0%	9	26.8%
60代	1	0	2	3	6	6	1	0	2	0	3	4	9	10
70以上	0	0	0	0	0	14.6%	0	0	0	1	1	26.7%	1	17.9%
計	8	0	7	26	41		1	1	3	10	15		56	
比率	73.2%						26.8%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（3/30～4/5）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
4月3日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	男	28	負傷	雪崩	2人パーティでバックカントリーを滑走中、雪崩により、 負傷

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、1件の山岳遭難が発生しました。バックカントリー滑走中に雪崩に巻き込まれ、膝を負傷し行動不能となったものです。

春先は、気温上昇により雪質が不安定となり、雪崩の危険が高まります。

特に、湿雪雪崩は規模が小さくても回避が難しく、足元をすくわれることで転倒して、負傷につながります。また、全層雪崩は重大な遭難に直結するおそれがあります。

これからの時期は、

- ・気温が上昇する時間帯の行動を避ける
- ・雪の状態に異変を感じたら速やかに引き返す

など、リスクを意識した行動が重要です。

さらに、雪解けに伴い落石の危険も高まります。雪上では落石の音に気が付きにくいいため、常に周囲の状況を確認し、危険を察知した場合はすぐに回避できるよう心がけてください。

県内では、桜が見頃を迎えていますが、標高の高い山域では依然として氷点下となる場所もあります。山では冬季と同様の装備が必要です。アイゼン、ピッケル、防寒着等は必ず携行し、万全の準備で入山してください。